

(様式第2号の3)

東京都保育士等キャリアアップ研修

研修カリキュラム

研修実施機関名： 一般社団法人日本社会福祉マネジメント学会

研修名	東京都保育士等キャリアアップ研修	研修種別	3 障害児保育		
研修期間		研修定員	20名	研修時間	15時間

項番	研修実施予定日時	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)	研修時間 (分)	研修形態 (講義・演習・ グループ討議等)	研修会場 (名称・所在)
1	集合研修開始日10日前～ 前日までの間に受講	障害児保育の概要（事前 学修）	・障害児保育に関する意義と理解	名古屋経営短期大学 講師 木村 拓磨	60	講義 (オンデマンド)	受講者各施設（園また は自宅）
2		発達障害の理解と特徴 家庭および関係機関との 連携	・発達障害の診断意義と発達支援につ いて～ライフ・ステージの視点に基づ いた最新の研究知見と臨床現場から～ ・発達障害の子どもと保護者や家族に 対する理解と支援	和洋女子大学こども発達 学科 准教授 金井 智恵子	240	講義 演習 グループ討議	株式会社global child care 東京都台東区駒形1丁7 目-11 東武浅草駒形ビ ル5階
3		障害児における教育・保 育 発達障害児の指導法	・発達「気になる」園児の理解 ・身体発達・認知発達の関係性 ・感覚運動遊びの発達効果	相模女子大学子ども教育 学科 教授 トート・ガーボル	240	講義 演習 グループ討議	同上
4		障害の理解 家庭及び関係機関との連 携	・合理的配慮に関する理解 ・他職種との協働、小学校との連携	名古屋経営短期大学 講師 木村 拓磨	180	講義 演習 グループ討議	同上
5		障害児保育の指導計画、 記録及び評価	・地域の専門機関との連携及び個別の 支援計画の作成 ・全体的な計画に基づく指導計画の作 成と観察・記録 ・計画作成の留意点 ・障害所保育の評価	同上	180	講義 演習 グループ討議	同上

※1 研修ごとに作成すること。

※研修種別は、乳児保育、幼児保育、障害児保育、食育・アレルギー対応、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、マネジメント、保育実践から該当するものを記載すること。

※研修時間は、休憩時間を含まない実質の時間を記載すること。

※研修形態は、講義、演習、グループ討議等の別を記載すること。